

関節リウマチと抗CCP抗体

関節痛と朝のこわばりがあれば、関節リウマチの可能性がります

リウマトイド因子 (RF)

- ・血液検査で、リウマトイド因子(RF)を測定して関節リウマチの診断に役立っています。
- ・リウマトイド因子は関節リウマチ以外の病気や健常者でも陽性になることがしばしばあります。

そこで、**抗CCP抗体**という検査が2008年から日本でも行われるようになりました。

抗CCP抗体

- ・関節痛の精査で、この抗CCP抗体が陽性となれば関節リウマチの診断精度が非常に高くなります(90%以上)。
- ・自然に関節痛が改善しても抗CCP抗体が陽性なら将来、関節リウマチを発症する可能性があります。
- ・抗CCP抗体が陽性の方は、陰性の方に比べて関節破壊の進行リスクが高くなるので、関節痛があれば早期治療をお勧めしています。

	診断精度	発症予測	関節破壊
抗CCP抗体	◎	◎	◎
リウマチ因子	○	○	○

抗CCP抗体が陰性でも関節リウマチと言われたら、関節リウマチ以外の疾患の可能性も考えた方がよいかもれません。

ご心配な場合は、専門医にご相談ください。

